

委員長 それでは採決に入りたいと思います。その前に何か御意見のある委員の方は挙手をお願いいたします。

特にございませんか。

(「なし」の声あり)

それでは採決に入りたいと思いますが、御異議ございませんか。

(「異議なし」の声多数)

それでは2会計、1個ずつ採決をしていきたいと思います。

まず最初に令和7年度松田町上水道事業会計予算について、賛成の方の挙手を求めます。

賛成全員です。それでは、賛成全員ということで、令和7年度松田町上水道事業会計予算、賛成全員で可決すべきものといたしました。

続きまして、令和7年度松田町寄簡易水道事業会計予算について、賛成の方の挙手を求めます。

賛成全員で可決すべきものと決定いたしました。

お諮りいたします。後ほど報告書を作成したいと思いますが、報告書の作成についてどのような形にしたらいでしょうか。御意見のある方はお願いします。

田代委員 まず、上水道については、先ほど私が質問したとおり、水道使用料の滞納額が1,000万近くあるので、受益者負担の公平性の観点から、収納体制の強化を図られたい。これは上水、特に監査報告でもうたっていて、それが改善されていないんでね、これからの新年度予算、ぜひこれを強化してほしいと。

あと、一方の寄簡水、上水もそうなんですけれども、皆さん意見が出ていたとおり、水道使用料のね、改定を行って健全経営となるよう努めていただきたいと。これは共通です。この2つは意見書に入れていただければありがたいと思います。よろしくお願いします。

井上委員 意見書じゃねえべ。

田代委員 あ、報告書。報告書と。すみませんね、言葉を間違えまして。

委員長 ほかに御意見のある方。

井 上 委 員 上水道事業会計につきましては、水道使用料自体で見るとですね、赤字の状況であります。今後の耐震化、上水道におけるインフラ整備を踏まえた中でもですね、やはり料金の値上げの検討をせざるを得ないというふうに考えますので、令和7年度以降ですね、そういった部分、インフラ整備等の中において、料金値上げを検討をお願いをしたいと。

寄簡易水道事業については、令和6年度以降ですね、借入金が1,300万、1,900万ということで予算化をされています。もう料金改定を行わないとですね、ますますその借入れ部分の借入金の返済による赤字というものが増高してくるという中でですね、しっかりと寄簡易水道事業会計についてもですね、料金改定を検討をせざるを得ないという状況だということで、その辺をですね、報告書の中の特記事項ということで、明記をしていただきたいと思います。

委 員 長 ほかに御意見ございませんか。お願いします。

中 津 川 委 員 じゃあちょっと。ちょっと今のまとめのところで、今各委員の皆さんから御意見いただいたので、ちょっとこれから報告書をまとめるに当たって、ちょっと確認だけさせてください。

上水道においては、まずは使用料の未収があるので、収納体制の強化を図られたいというのが、両方の共通するのが、水道料金の改定に向けて、検討されたいという言葉があったんですけども、例えば審議会に諮られたいとか、そういう表現でもいいのかなと思うんですけども、その辺はいかかでしょうか。

田 代 委 員 令和5年に出ていたでしょう、審議会のあれ。料金改定。（「やってないじゃん。」の声あり）なかったっけ。さっきの説明、令和5年に。

井 上 委 員 5年ね。だから6年はやってない。

田 代 委 員 それでもう言ってるんだから、もう一回審議会に諮るなんていうのは。

議 長 さっき言ってたよ、審議会。

井 上 委 員 だから令和7年度の予算で審議会の予算が載ってますよという説明が。

中 津 川 委 員 さっき課長がはっきりと、料金改定をやると、審議会で。言ってたので。

井 上 委 員 ただ、委員会報告書なのでね、議会の中で委員会報告の採決をされると思うんでね、その中では、料金値上げの検討をされたいということで、執行者側に

対して。先ほどの、執行者側が審議会のほうへ答申をするということで、それに対する報酬をね、計上していたんですけども、やはり議会のほうとしては、そういった現状が分かっているのであれば、議会のほうの報告書の中の特記事項としてですね、執行者側が検討をしてほしいということ上げる、上げてもらうための。

委員長 こっちからは審議会を開けとかって言えないから。

井上委員 こっちから審議会にそれを検討してくれよとは言えないので、議会からは執行者のほうに対して要求する。

中津川委員 分かりました。

委員長 いいですか。それでは、報告書を作成したいと思いますので、正・副委員長…（「一任。」の声あり）一任でよろしいでしょうか。

暫時休憩します。再開はまだ未定。出来次第。 (11時16分)

委員長 それでは、休憩を解いて再開します。 (11時55分)

上水道及び簡易水道の委員会報告書の案ができましたので、事務局より朗読させます。

議会事務局長 令和7年3月11日、松田町議会議長 平野由里子殿。上水道及び寄簡易水道事業会計予算審査特別委員会委員長 寺嶋正。

上水道及び寄簡易水道事業予算審査特別委員会報告書。

本委員会は、3月11日に委員11名中10名出席のもとに、役場4階大会議室において委員会を開催し、令和7年第1回議会定例会において付託された議案第24号令和7年度松田町上水道事業会計予算について、慎重に審査しましたので、次のとおり報告します。

記、1、審査の結果。採決の結果、賛成全員で原案のとおり可決すべきものと決定しました。

2、審査の内容。松田町水道ビジョンにより水道事業の現状と課題の説明を受けた上、上水道事業会計全般について審査しました。予算執行に当たっては、次の事項について申入れをします。

(1) 松田町上水道事業会計予算については、水道使用料の滞納額が1,000

万近くにまで増えているため、未収金収納体制の強化を図られたい。

（２）上水道事業は、水道料金収入だけでは賄われていないため、健全な経営や適正な水道料金について検討されたい。

引き続きまして、議案第25号の案でございます。（案）令和7年3月11日、松田町議会議長 平野由里子殿。上水道及び寄簡易水道事業会計予算審査特別委員会委員長 寺嶋正。

上水道及び寄簡易水道事業予算審査特別委員会報告書。

本委員会は、3月11日に委員11名中10名出席のもとに、役場4階大会議室において委員会を開催し、令和7年第1回議会定例会において付託された議案第25号令和7年度松田町寄簡易水道事業会計予算について、慎重に審査しましたので、次のとおり報告します。

記、1、審査の結果。採決の結果、賛成全員で原案のとおり可決すべきものと決定しました。

2、審査の内容。松田町水道ビジョンにより水道事業の現状と課題の説明を受けた上、寄簡易水道事業会計全般について審査しました。

なお、松田町寄簡易水道事業会計は、企業会計化されたが、毎年他会計からの繰入れが必要な状況であることから、今後の健全な財政運営のため、適正な水道料金について検討されたい。

よろしくお願いします。

委員長 報告書の案は、いかがでしょうか。

井上委員 去年のですね、あれは全部全会計を1つの報告書で予算審査特別委員会へね、報告していたと思うんですけども、その辺をまた分けて別々にするよりは、ここは単純に議案第24号及び25号というふうにすればね、いいだけのことではないかなというふうに思うんですけども、その辺はどういうふうに委員長、副委員長で考えられたかをお伺いしたいと思います。

委員長 議案はね、そういうのもあるんですけども、議案が一応24号と25号に分かれておりますので、報告書も2つにしたということ。

井上委員 委員会の報告書なのでね、それはあくまでも1つであるべきだと思うんです

よ。その中で、もう委員会名が上水道及び寄簡易水道事業予算審査特別委員会なので、その報告書というのはね、一つだというふうに考えますので、その辺はいかがですか。去年はたしか、去年もそうになっていたと思うんですよ。一般会計からね。特別会計。いやいや、今、委員長に聞いてるんですよ。

委員長 だからさっきの、確かに去年は一括して確かにやりました。でも、今回は2つの会計のみなので、別々に、審議は一括審査で、採決は個別採決ということなので、この2つに報告書も分けさせていただいたということでもあります。

井上委員 じゃあ、これで終わりにしますけども、本会議でね、報告するのに、2回に分けてね、報告するのかというふうになってしまうと思うんですよ。その辺をもう一回お考えだけお伺いして終わりにします。

田代委員 その前に。全く同じ内容だと思うんですけども、今日午後、議案第2号鳥獣対策の実施隊、それとそれに関連した非常勤職員の実施隊の金額、それが2つ出ています。私なんて、産業厚生でこれどうするのと一回打合せしたときに、一緒にしようか別々にしようかということで、そのときは産業厚生は別々だというふうな回答が出て、2つの報告書を作るというふうに私は認識しているんですよ。今回も同じようなものでしょう。その辺を逆に井上さん、どう考えられますか。

委員長 という投げかけです。

井上委員 そっちのほうはね、産業厚生常任委員会に付託なので、これはでも、この2つをね、合わせた委員会に付託をしているので、報告書としては1つであるべきだと。去年も…去年はちょっと委員会名は忘れたんですけども、一般会計予算ほか何とか何とかと審査特別委員会だったと思うんですよ。産業厚生は常任委員会なので、幾つも付託された項目があればね、その付託された項目に対しての委員会報告を出すんですけども、これは本委員会は、もう頭からもう上水道及び寄簡易水道事業になってますよね。委員長のお考えで私は構わないと思いますので、最終的に先ほどね、お答えを聞きましたので、それでいいですよ。

委員長 ほかにありますか。

飯 田 委 員 この2つの報告書、委員会報告もらったんですけど、今、井上さんが言われるようなね、例えば議案第24号及び25号に審査したということで、上のほうをまとめちゃうと、ほとんど文言同じなんですよ。それで、文言違う審査の内容と、こっちは審査の内容の1、2だけ。それだったら、これ1つにして、1枚でまとめあげちゃったのが、ほとんどね、同じなんでね。その辺はどういうふうに。それで、審査したのも、やっぱり同じようなね、水道の関係ですし。付託した時点だって、24、25を付託というふうな形で、最初みんな賛成しているわけですからね。24号及び25号でまとめちゃって構わないと思うんですけどね。というのが私の意見です。あとは委員長にお任せします。

委 員 長 ほかにありますか。

じゃあ、委員長が答えます。確かに2つの同時、審査は一応審査は一括でやりますから審査は2つまとめてやることはできるんです。採決の場合は個別にやりますから、報告書も個別に、それに伴って報告書も別々に分けてやったほうがいいのかと思って、私はこういうふうな提案をいたしました。（「いいです。」の声あり）細部のほう、審査内容のほうは何かございますか。

田 代 委 員 上水のほうを見てください。第24号のほうです。（1）松田町上水道事業会計予算については、ここまではいらないと思います。水道使用料の滞納額が1,000万近く、これ以下でいいと思います。皆さんに諮っていただきたいと思います。

委 員 長 今、意見としては、予算そのものは、報告書は上にありますので、この審査内容のほうの予算というのはいらないんじゃないかというふうな案です。

田 代 委 員 そうことです。上でもう全部うたっているから。

委 員 長 「松田町上水道事業会計予算については」というのを削除でよろしいでしょうか。お諮りします。

あと、ほかに御意見がありますか。ありますでしょうか。

吉 田 委 員 内容ということじゃないんですけど、文字の…。

田 代 委 員 ちょっと待って。委員長、今の決めちゃってくださいよ。今、皆さんの了承取ってないでしょう。私の投げかけの質問に対して。それ固めてから次へ行って

ください。

委員長 田代委員の意見について、削除でよろしいでしょうか。

（「はい」の声あり）

じゃあ「松田町上水道事業会計予算については」を削除で、（１）は「水道使用料」から「図られたい」まで、まとめたいと思います。

田代委員 ありがとうございます。

吉田委員 内容というよりは、表現のところですけども、かぎ括弧の後に読点を打つというのは、こういう表現というのは通常使わないので、それはちょっと取っておいたほうがいいのではないかと。

委員長 上のほうですか。

中津川委員 一番上のところの予算の「予」も抜けているし、今、吉田議員の方からも指摘があったところ、その辺については修正します。

委員長 ４行目の予算、「、」を取るということで、よろしいでしょうか。
ほかにございますか。

（「なし」の声あり）

では、ないようでしたら、これで…。

井上委員 未収金収納体制というところ、繰越…水道なんか、上水道の企業会計なのでね、３月３１日時点で収納ができてない繰越等の分も未収金になっちゃうんですよ。

（１）の表現ですね。滞納徴収とか滞納整理の強化を図られたいのほうがいいんじゃないのかと思うんですけども。あとは収納…「未収金」取っちゃって、収納体制の強化。

田代委員 そうだな。「未収金」取る、これでいいでしょう。

委員長 井上委員のほうから、上水道の（１）のほうの２行目の「増えているため、未収金収納体制の強化」というところは、「収納体制の強化で」ということでよろしいでしょうか。を図られたいと。未収金はいらないということで、よろしいでしょうか。

（「はい」の声あり）

じゃあ、細部のほう、あとはよろしいでしょうか。ほかにございませんか。

では、細部については正・副委員長で今の意見も含めてまとめ、報告書の案として、報告書としてまとめていきたいと思いますので、御確認のほどよろしくをお願いします。よろしいでしょうか。細部にわたっては正・副委員長で整理をさせていただきます。

（「はい」の声あり）

では、長時間にわたりまして…（（上水だけ終わった。）「もう1枚は。」の声あり）上水道…今、議案第24号の…（「今度は25号です。」の声あり）25号に、じゃあ移ります。

議案第25号、令和7年度松田町寄簡易水道事業会計予算の報告書について、案ですが、何か御意見ございますでしょうか。

井 上 委 員 その審査の内容の下から2行目の「今後の健全な」って書いてありますけども、もう令和6年度からですね、借入れをするということで、「今後」はいらないんじゃないか、健全な財政運営のためにとかでいい。

田 代 委 員 「今後の健全な」を取っちゃう。

井 上 委 員 「今後の」を取るということで、もう既に赤字財政だという認識で、令和6年度時点から借入れをしているという、赤字財政だという認識であれば、「今後の」を取ってしまっただけで、健全な財政運営のため、適正な水道料金について検討されたいということで、いいかなと思いますが、いかがでしょうか。

委 員 長 井上委員のほうから、4行目かな、下から2行目か。「今後の健全な財政運営」とありますが、「今後」を取るということで、「あることから健全な財政運営」ということで。

議 長 ここ「、」ですね。

委 員 長 「から」を「、」にして、「今後」を削除ということでよろしいでしょうか。

（「はい」の声あり）

以上で、あとございませんね。細部にわたっては…。

田 代 委 員 句読点の整理を含めて、あと委員長お任せ。

委 員 長 あとはお任せください。予算の「、」も取ります。

それでは、長時間にわたりまして、上水道及び寄簡易水道事業会計予算審査

特別委員会の審査、大変お疲れさまでした。ありがとうございました。これで
終わります。

(12時13分)